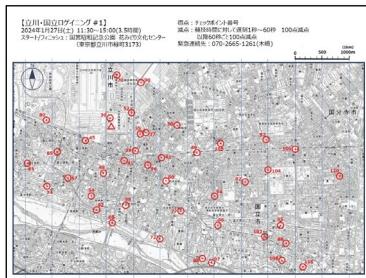


実施目的

多摩地域住民等が気軽に観光できる地域の魅力を掘り起こし、民間事業者による事業実施の可能性のあるロゲイニング事業として実施し、持続性のある地域活性化につなげる

実施内容

- ・1月27日、2月11日と合計2回のイベントを企画。
 - ・第1回 参加者 30名(子ども 1名)、スタッフ 7名
 - ・第2回 参加者 40名(子ども 3名)、スタッフ 7名
- ・チェックポイントは、立川観光コンベンション協会・国立市観光まちづくり協会で協議して設定。観光スポットやアート作品、句碑などを目印として選定したほか、ファミリー層の参加も想定していたため公園の遊具なども組み入れた。



配布したマップ
上：表/下：裏

① 集合/ルール説明、② 各地点をめぐる参加者、
③ ゴール/集計、④表彰式

- ・賞品には立川市と国立市のゆるキャラグッズや地域のブルワリーのクラフトビール、観光認定品などを採用。全員に配布できる参加賞も準備。
- ・当日はイベント保険に加入し、説明時にも安全に配慮することをアナウンス。救急箱も準備した。
- ・参加費として1,500円/人を徴収し、アンケートを実施した。



事業成果

- ・アンケート結果サマリ
 - ・第1回 満足度：5：13名、4：1名、3：0名、2：0名、1：0名
 - ・第2回 満足度：5：14名、4：5名、3：0名、2：0名、1：0名
- ・2回の実施により、立川・国立エリアで「ロゲイニング」という新しいスポーツを周知することができた。
- ・「楽しくまち歩きできた」と参加者にも好評であり、継続開催を希望する声を多数いただいた。
- ・実施予算も想定内で収まり、まちの名産品を表彰という形で紹介できるのも参加者にとって違和感がなく協会としても紹介がしやすかった。
- ・1回目より2回目の方が募集期間が長く、1回目の様子を見て参加を決めた方もいた。開催回数を重ねるほど参加者数を増やしていけるのではという実感が持てた。
- ・運営側の制作物の制作・イベント運営ノウハウを蓄積できた。続けて2回開催することで、短期間での運営改善を実現できた。

今後の課題

- ・通常のロゲイニングのルールでは「高得点を競う」ゲームになるが、ターゲット層がファミリー層も含むこと、また観光目線ではスポットを回遊して楽しんでもらいつつ気持ちよく消費を促す、という仕組みも必要に感じ、途中の飲食店立ち寄りでのポイント付与などのさらなる工夫が必要に感じた。
- ・スタート・ゴール地点の国営昭和記念公園は園内での金銭の授受ができず、参加者に園外で一度受付をしてから園内に入ってもらおうような2段階の案内となってしまった。雨天時の参加費回収リスクもあるので、参加費を事前申込時の集金とするなどの仕組みを取り入れることも必要に感じた。

今後の展開

- ・今回立川・国立エリアでの開催であり「国立市観光まちづくり協会」と連携して企画を進めたように、立川と隣接する他の近隣市とも連携をしながらお互いの住民が行き来でき、一緒にイベントを面白くしていけると良い交流、広域連携の土壌をつくることのできるため、継続的に運営のブラッシュアップをかけながら、日野市や昭島市などの観光関連の団体との連携を模索していきたい。